

3 観光立国・日本の先導的役割を果たすために

～観光庁分室の京都への設置～
(国土交通省・観光庁・外務省)

観光立国推進基本計画において、訪日外国人旅行者を2010年までに1,000万人、更に2020年までには2,000万人に増やすという目標が掲げられていますが、昨年後半からの世界的な経済危機や円高等の影響により、観光を取り巻く環境は決して楽観視できない状況にあります。

目標達成のためには、外国人観光客の目から見た日本の大きな魅力である「和の文化」に一層磨きをかけ、多彩な施策を展開していくことが最も効果的であると考えます。

その際、伝統的な日本文化の原点である京都は、世界の中でも魅力あふれ、訪れてみたい代表的な観光地であり、観光立国・日本の先導的な役割を果たす拠点として最適なまちであります。

つきましては、観光立国の推進に当たり、次のとおり提案・要望します。

提案事項

観光立国の推進拠点として観光庁分室の京都設置と日本文化の世界への発信

要望事項

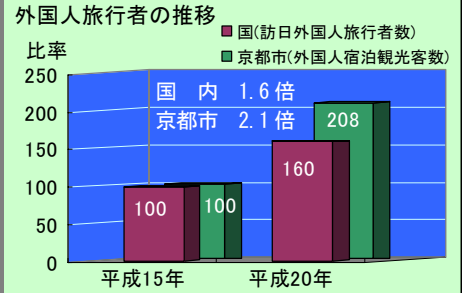
- 1 観光客の受入環境整備に対する支援
 - (1) 日本を代表する観光地・京都の総合観光案内所（京都駅内）について、全国の案内機能の充実に向けた人的・財政的支援やノウハウの提供
 - (2) 公共交通を優先した「歩いて楽しい観光」の振興のための歩行空間の環境改善、公共交通の利便性向上等の取組推進
- 2 京都市の統計手法を活用した「全国統一の共通基準」の作成
- 3 中国をはじめ新興国からの訪日観光促進のための観光査証の免除を含めた発給手続の簡素化

主な要望先：国土交通省（総合政策局情報政策課） 観光庁（総務課） 外務省（領事局外国人課）
京都市の担当課：産業観光局 観光部 観光企画課長 北村信幸 TEL 075-222-4130
産業観光局 観光部 観光振興課長 柴田洋志 TEL 075-222-4133
産業観光局 観光部 観光振興課 国際事業担当課長 柿沼宏明 TEL 075-222-4133
都市計画局 歩くまち京都推進室 計画推進課長 宮崎秀夫 TEL 075-222-3483

現状・京都市の取組

- ❑ 入洛観光客 5,000 万人 の達成（平成 20 年）
- ❑ 外国人宿泊観光客数は、5 年間で倍増（平成 15 年 45 万人 ⇒平成 20 年 94 万人）
- ❑ 世界の中での「京都」の健闘
 - 「ゲーグルアース」
 - 観光地として世界で3番目に掲載
 - 「トリップアドバイザー」(旅行情報 HP)
 - 「魅力ある観光地」(アジア)で1位
 - 「トラベル&レジャー」(旅行情報誌)
 - 「訪れてみたい都市」(アジア)で2位
 - 「ワンダーラスト」(旅行情報誌)
 - 「満足度の高い観光地」(世界)で2位

	15年	20年
京都市(外国人宿泊観光客数) 単位:千人	450	937
国(訪日外国人旅行者数) 単位:千人	5,212	8,351
	100%	208%
	100%	160%



課題

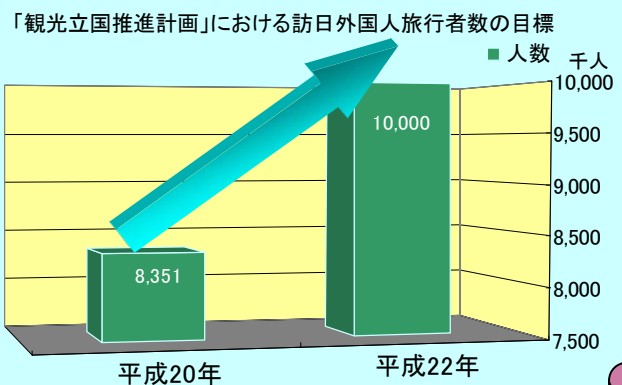
- ❑ 世界的な不況や円高等による訪日外国人旅行者の減少への対応
- ❑ 「国際文化観光都市・京都」にふさわしい受入環境の充実
- ❑ 「環境モデル都市・京都」にふさわしい環境と調和した観光の推進
- ❑ 全国統一の観光統計手法の確立による観光施策の企画・検討
- ❑ 外国人観光客が容易に訪日旅行できる環境の整備



高速道路SAにおける公共交通機関利用促進キャンペーン

観光立国・日本の先導的役割を果たすために

観光庁分室の京都設置
観光客の受入環境整備に対する支援
京都市の統計手法の活用
観光査証発給手続の簡素化



観光立国の実現に向けて
「観光立国推進計画」の目標達成!

平成22年までに1,000万人にし、将来的には、日本人の海外旅行者数と同程度にする